



◀若松区  
響灘地区における  
洋上ウインドファームの  
予定図



北九州と日本の未来を視野に、洋上風力発電と向き合う人たち。

北九州から発信し、新たな産業を広げる挑戦

北九州は洋上風力発電  
推進の最適地

当社は北海道を拠点に、発電用風車のメンテナンス事業を全国で展開する企業です。響灘地区では、洋上風車の陸上実験設備を有し、実証研究やメンテナンスのトレーニングなどを行っています。今回のプロジェクトに参加した決め手は、北九州市が大規模な港湾インフラやモノづくり関連企業の集積など、洋上風力発電を進める上で欠かせない条件を高いレベルで満たしているから。市の担当部署も皆さん熱心で、日々やり取りを重ねながら二人三脚の感覚で事業を進めています。このように、風力発電を推進する条件が高いレベルで整い、行政の熱意も高い北九州市は、風力発電の産業化に最も適した都市だと思えます。



▲浮体式洋上風車

風車メンテナンスは、  
アメリカでは  
「なりたいたい職業」ナンバー1

世界的に見ると、風力発電の先進地は欧州です。風車本体も欧州製が主流で、今回の実証実験にはデンマーク製の風車を用いています。台風を



株式会社北拓  
伊藤嘉隆さん

欧米の若い世代には風力発電業界が大人気で、アメリカでは風車のメンテナンス技師が「なりたいたい職業」ナンバー1になったこともありま。日本の若者にも、ぜひ洋上風力発電の未来に注目してほしいと思います。



▲風車メンテナンス

はじめ変化に富んだ日本独特の風の中で欧州製の風車が問題なく使用できるかどうかなど、実証研究の課題はさまざまです。O&Mのノウハウも基礎から積み上げる必要があります。また、当社のこれまでの取り組みは、部品メーカーや制御システムの開発会社など、多様な業種の企業と共同で進めています。このような取り組みを通して、風車の建設や運転に関わる課題はほぼ解決できています。令和7年度の洋上ウインドファームの本格稼働を視野に、まもなく風車の基礎部分の詳細設計が始まるところです。

「洋上風力発電のまち北九州」を  
市民みんなが誇りに思う未来へ

私たちは昨年から1年かけて、風力発電をテーマに、小倉の市街地などで風力を測定して「街なか風力発電」の可能性を探るほか、本校の先生方を対象に風力発電に関する意識調査を行いました。10月には、北九州市で開かれた「世界洋上風力サミット2021」に参加し、研究成果をポスターにまとめて発表しました。また11月には実証研究中の風車を見学し、地上70mの風車の上にも昇りました。最近では、CO2削減に寄与し、北九州の産業振興にもつながる風力発電の意義を伝えるために、小・中学生を対象としたパンフレットの制作も始めています。将来的には、北



明治学園高等学校 課題研究  
「環境とエネルギー」グループの皆さん

九州が「洋上風力発電のまち」だということが市内外の多くの人に知られ、まちの誇りになればいいなと願っています。

いずれは、日本、そしてアジアにおける  
風力発電関連産業の総合拠点に



港湾空港局 エネルギー産業拠点化  
推進課 伊東 信二係長

本市のこれまでの歴史や可能性を踏まえ、「これぞ北九州」という取り組みとして何ができるか。2011年から10年以上をかけ、先人の思いをつなぎ、膨らませながら育み、取り組んできました。これまで、欧州

の先進地に学びながら、まず、洋上風車を陸上に設置し、必要なデータ収集を行うなど実証研究を経て、国内最大級の洋上ウインドファーム事業を誘致するに至りました。現在、総合拠点形成に向け、その核である基地港湾を整備しています。さらに、基地港湾を利用する事業者の掘り起こし、地元企業や誘致企業の業界参入・立地支援を行っています。今後、浮体式の展開や風車のさらなる大型化への対応など将来を見据えつつ、日本、そしてアジアにおける洋上風力発電の普及に貢献できるように、拠点機能の強化を図ってきたいと考えています。

この特集に関するお問い合わせ 港湾空港局エネルギー産業拠点化推進課 ☎582・2994